

■九州朝日放送番組審議会議事概要（2月分）

|       |  |
|-------|--|
| 第580回 | 九州朝日放送番組審議会 議事概要   |
| 開催年月日 | 平成28年2月8日（月） 午後3時30分～5時00分   |
| 開催場所  | 九州朝日放送 本社役員会議室   |
| 出席者   | <p>委員総数 8名<br/>出席委員数 8名<br/>欠席委員数 0名</p> <p><b>（出席委員）</b><br/>光富 彰委員長、宮田 克彦副委員長<br/>野田幸之輔委員、藤田ひろみ委員<br/>古宮洋二委員、三好京子委員<br/>松村茂雄委員、鶴 利絵委員</p> <p><b>（放送事業者側出席者名）</b><br/>代表取締役社長 武内健二<br/>常務取締役編成制作局長 半田俊彦<br/>取締役ラジオ局長 清水透<br/>報道局長 佐伯拓史<br/>報道局次長兼報道部長 松延健次<br/>プロデューサー 岡本群治<br/>視聴者・広報室長兼審番事務局長 久芳康治<br/>事務局員 古賀香織、松田泰久</p>   |
| 議 題   | <p>テレビ番組<br/>「スーパー Jチャンネル九州・沖縄 年末スペシャル 『つなぐ九州・沖縄～2015』」<br/>&lt;放送日&gt;平成27年12月23日(水・祝)午後4時～5時53分</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>平成28年2・3月ラジオ・テレビ番組編成状況の報告</li> <li>平成28年1月視聴者・聴取者応答状況の報告</li> <li>その他</li> </ol>  |
| 議事の概要 | <p>◎委員の意見（概要）</p> <p>委員からは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○番組のキーワードを未来に向かって「つなぐ」とし、落ち着いた司会と番組進行は、休みの日にゆっくりと1年を振り返るのには良かった。</li> <li>○ゲストの直木賞作家 東山彰良さんとタレントの優木まおみさんは、自然体で好感が持てた。</li> <li>○硬軟取り混ぜたニュースや中継など、2時間を飽きさせずに見せる工夫があった。</li> <li>○阿蘇山の噴火速報の裏側について、タイムグラフを用いて速報に至るまでの経緯を説明していたのはわかりやすく良かった。<br/>口永良部からの中継はタイムリーだった。</li> <li>○市民に来年の抱負を問う街頭インタビューによるエンディングは希望をつないで良かった。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの評価を頂きました。</p> <p>また、気になる点や望むこととしては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○原発再稼働問題など全国的な話題をもっと掘り下げて欲しかった。</li> <li>○反社会的勢力関係やインバウンドなどの経済のネタなども入ってればもっと幅が広がったのでは。</li> <li>○ブロックネット番組のせいか、やや間延びしてリズム感が損なわれた感じがした。</li> <li>○今年の干支とはいえ、高崎山のサルの話題は過多感があった。</li> <li>○戦後70年で沖縄の基地建設反対運動をしている若者を取り上げていたが、基地建設問題について反論を許さない感じが、少し偏りがあったのでは。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの批評や提言を頂きました。</p> <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○九州・沖縄の系列6局で力を合わせ、切磋琢磨して制作している。今年、初めてサブタイトルを「つなぐ」とした。</li> <li>○ゲストは旬で、かつ地元ゆかりのある方に出演して頂いた。</li> <li>○もっと多くのニュースを取り上げた方が良いとの意見もあった。<br/>暗く重たい事件の取り上げ方が少なかった。</li> <li>○例年12月23日に制作しているが、視聴率や占拠率はこの3年間で一番良かった。</li> </ul> <p style="text-align: right;">などの説明をしました。</p> |